

【対象年齢】3～5 歳児

【確認事項】絵の具の濃さやキッチンペーパーの種類によって実験の結果や経過の時間が変わってきます。事前に一度確認をお願いします。

準備する物	
・プロジェクター、ipad	動画を映し出す環境を整える
・水彩絵の具を溶かした色水 コップ3個（赤・青・黄色）	水で溶いてそれぞれコップに適量準備 ※準備の段階から子ども達と一緒に進むと、実験への興味が深まるのでおすすめ。
・キッチンペーパー	6枚（1セットの場合） ※動画を見て5枚は折って準備。1枚は子ども達の前で折るところを見せる。 状況により色水同様、子どもたちと一緒に準備ができればなお良い。
・空のプラコップ	3個（1セットの場合）
・お盆（トレイ）	6個のコップを円形に並べて納まる大きさ（かごなど代用品でもOK）
・雑巾	

活動①	ねらい	内容
		色水とキッチンペーパーを使った実験「毛細管現象」の言葉・現象に興味を持ち、色水が混ざる実験を楽しむ。
活動内容		<p>★動画「水 パート3」をみんなで視聴。</p> <p>※2分49秒あたりで動画を一旦停止（2分54秒～実験結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色水が沁み込んだキッチンペーパーをそのまましばらく置いておくと、この後空のプラコップの中がどうなるか子どもと一緒に考えてみる。（予測）</li> <li>もし「色水が混ざる」との意見が出てきたら「赤と青で何になる？」「青と黄色では？」「黄色と赤では？」と言った様に混色についても問いかけ、確認をする。</li> </ul> <p>※動画を再スタート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像と一緒に「毛細管現象」の言葉を子ども達と一緒に言う。</li> <li>子ども達に興味を持たせると共に、色水が吸い上げられて空っぽだったコップに左右のコップの色水が混ざり合い、混色の色水が出来ていることに「不思議だね？」「面白いね」「ホントかな？」などの気持ちを子ども達と一緒に共感しながら動画を終了。</li> </ul> <p>・動画視聴後、「色水が本当に移動して混ざり合うかやってみよう！」と問い掛け、道具・材料を提示する。</p> <p>&lt;実験方法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>赤・青・黄色の色水をコップに入れて提示。（場合により準備から見せる）</li> <li>色水のコップと空のコップを交互に円状に並べる。 ※お盆（トレイ）の上で行うとよい。</li> <li>ペーパーを畳んで片側をネジって見せ、コップの中に差し込んでいく。 ※ペーパーのねじった方を空のコップに入れて行く ※この段階でじわじわ色水がしみ込む様子がわかるくらいの濃さがベスト。期待感が高まります。</li> <li>この後一旦混ざるまで時間を置く。（大体5～6時間）</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達と一緒に色水が混ざった様子・混色の色を確認。面白さを体験。称賛して実験を終了する。</li> </ul>
		<p>使う物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクター、ipad</li> <li>水彩絵の具を溶かしたプラコップ（赤・青・黄）</li> <li>空のプラコップ</li> <li>キッチンペーパー</li> <li>お盆（トレイ）</li> </ul>

<「毛細管現象」とは>

- ・細い管上物体の液体が管の中を上昇または降下する現象。
- 身近なところでいうと、植物が根から水を吸い上げるのと同じ。

<色水の濃さ、ポイントについて>

- ・絵の具の量が少なすぎるとうまく色がきれいに混ざらないので、事前に確認をしておく。
- ・溶かした色水の量は、容器に対して8~9割ほどにした方が、キッチンペーパーがうまく空のコップに移動ができる。



<さらに発展した活動2選！>

<p>①和紙などのしみ込み模様作りやはじき絵など、色水を使った活動へと発展できれば、より意味ある楽しい活動となります。</p>	<p>イメージ</p> 
<p>②白菜や白い花なども使って、毛細管現象を楽しむこともできます。</p>	<p>イメージ</p> 